
この素晴らしい世界に祝福を!
2
KONO SUBARASHII SEKAI NI SYUKUFUKU WO!
作画
渡真仁
原作
暁なつめ
三嶋くろね
DRAGON COMICS AGE



この素晴らしい世界に祝福を!
2
作画 渡真仁
原作 暁なつめ
キャラクター原案 三嶋くろね
DRAGON COMICS AGE



KONO SUBARASHII SEKAI NI SYUKUFUKU WO!

CONTENTS

DESIGN : YUKO MUCADEYA & NANAFUSI NAKAMURA (MUSICAGOGRAPHICS)


この素晴らしい世界に祝福を!
第六章
この湖に自称女神の聖水を!


ばんっ
クエストよっ
え〜？
何だよ急に
魔王軍のせいで
いまだに高難度の
クエストしかないってのに
キツくてもいいから
クエストを
請けましょう！
それに俺達金には
困ってねーしさ…
わざわざ…
なっ
何言ってるの
ヒキニート！


高難度のクエストしか残ってないのはそれをこなせるパーティーが居ないからよっ！
なら私達が率先して受けて強いモンスターを殲滅し
多額の報酬で借金を返済…いえ 困ってる人々を助けるの！


駄女神…お前…
せっかく借金の肩代わりしてやったのにまた…
えっ…いや あの
だって！人はいっぱいごはん食べないと死んじゃうし――っ
ブン
ブン
あー…私はクエストに行くのはかまわないが…
私もです


ったく…
しゃーねーな
付き合ってやるから
手ごろなクエスト
探してこいよ
ピラッ
え…ホント？
じゃあこの
縄張り争いしてる
マンティコアと
グリフォンの討伐を…
手ごろなヤツっ
つってんだろ!!
何よっ
二匹まとまってる所に
めぐみんの爆裂魔法で
一発じゃない！
都合よく
二匹まとめる
作戦は俺に
丸投げなんだろ　いいから
もっと危険じゃ
ないヤツ！

ん…
もー
あっ
これなんてどう？
水源の湖の
水質が悪くなり
ブルータルアリゲーターが
棲み付き始めたので
浄化をお願いしたい
水の浄化！



あ
水の浄化っていや…
フフフ
わかってるわね？
私が何の女神か
宴会の
神様だろ？
違うわよ!!
水を司る高貴で
崇高な一級の女神
アクア様よ！
水の浄化なんて
楽勝すぎて
あくびが出るほどね
これこそまさに
私にうってつけの
クエストでしょ？
で…
浄化ってのは
具体的に
どうやるんだ？
水に浸って
浄化魔法を
かけ続ければいいの
半日くらい
長い！
一人でやれっ！
ちょおおおっと
待った――っ
ガッ


浄化してるときっとワニのモンスターが邪魔しに来ると思うの
カズマ達には浄化を終えるまで守ってほしいんだけど
オォォ


いいのではないか？討伐するわけではないし危険は少ないだろう
うーん…そうは言ってもワニのモンスターってのは…


いや待てよ…
アクア安全に浄化できる手があるんだがやってみるか？
いい事思いついた
え…？




サァアアァ‥

ねぇ…本当にやるの…？



私 売られていく
希少モンスターみたい
なんですけど…
ダクネス
そっち
押してくれ
えっ？
ちょっと！
カズマっ
乱暴はやめて…
きゃあっ!?


よし
こんなもんだろ
もっと丁寧に扱いなさいよ～
文句言うな
その檻の中だったら
モンスターが襲ってきても
大丈夫だろ
お前は安心して
水の浄化に励め

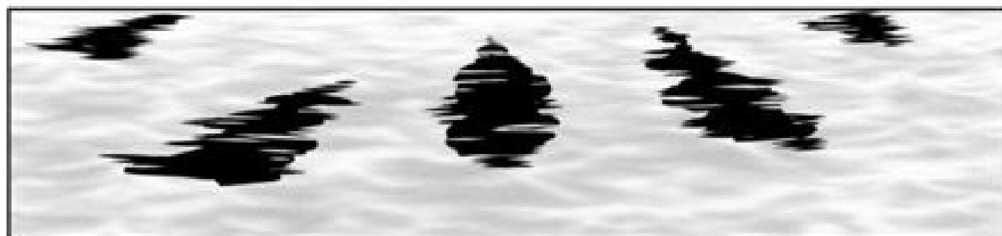

チャプッ
そうやって
浄化が終わるまで
出るんじゃないぞ


俺達は
離れた所に
居るから
危なくなったら
すぐ来てよー？


カズマ
少しアクアに厳しくないか?
んー?
浄化のためとはいえ あれでは風邪引いてしまうぞ
ああいう水責めプレイは私が引き受けると言うのに…
まったく
水の女神って一日中湖の底に沈められても平気って言ってたから大丈夫だろ
そっちかよ


……
……
……
……
バシャ
バシャ
……
おーい
浄化は
順調かー？
トイレ行きたく
なったら
言うんだぞー？
問題なし
順調よっ
アークプリーストは
トイレなんか
行かないから
お構いなく！
大丈夫そう
ですね
ちなみに
紅魔族も
トイレなんて
行きませんから
ふあ
あ…


このまま
ブルータルアリゲーター
来ないで無事に
終わるといいですが
おい
やめとけ
そーいう
フラグっぽい
セリフ吐くと
決まって…
ク…クルセイダーも
トイレには…





ズオオォ
カっ カズマーーっ
なっ 何か来たっ
すっぽ
何かいっぱい 来たんですけどーーっ!!


ぐあっ
ガシャッ
ひいいいっ
ギリ
ギリ
落ちつけっ アクア
モンスター捕獲用の檻だっ そう簡単には…っ

ミキッ
ミシッ
そっ
そうは言ってもっ…
ちょっ ちょっと！
ミシミシいってる!!
ギッ
檻から
鳴っちゃいけない
音がしてる――っ!!
ミシッ
ギギギッ
メキメキ
ワー！ キャーッ！
楽しそうだな…
あの中…
おい


ギリギリ
ヒイッ!?
入ってきたんですけどーっ
やっ ちょっと!!
グイ
グイグイ
あっ
ガブリ
私ピンチなんですけど
獣に汚されるんですけど——っっ!
何かもう色々とダメなんですけど——っ!!


くっ
な…なんて うらやまし…
いやっ アクアが 危ないっ！
是非 私もあの場に 交ぜて…
いやっ ここで仲間を 助けないなど…っ！
クルセイダーの 名折れ だあぁ——っ!!
おいっ こら 待っ…


アクア…
もう大丈夫だ
さあ私と代わろう
交代する意味あるのかしら
!
ダクネスっ後ろっ
ぱぁ
うっ



!?
ガブッ
こっ…こらっ 待っ!
心の準備が
ズッ…
ズルッ
ひあっ!?


ギ…ギリギ
うっ…あっ
やっ…！

ちょっと――っ 何しに来たのよ ダクネス――っ!!
くっ…くそっ

わ…私には仲間を救う使命が…
し…しかし…力で組み伏せられ抗う術なく屈辱に耐えねばならないこの状況がまた…

ワーッ！キャーッ！






もういい
めぐみん
爆れ
えっ


もちろん
思いきり
最小威力でな
アクアは
ステータス高いし
ダクネスも硬いから
死にゃしないだろ
キャー!!
いやです
腑抜けた
爆裂魔法
撃つなんて
爆裂道への侮辱です

仲間を助けるためだ
あっ
やらないと今後はおぶって帰らないぞ
わかりましたよ！
貸しですからね
……
……
カッ



エクスプロージョン!!
え…


ザザザザ・・・
ぷかぁ・・・
いやー
無事てよかったな


浄化も問題なく終わったし
これで借金返せるなっ
ビッ
全然無事じゃないっ!!


いや だが私はもう少し強めにされてもかまわ…
ほんと危なかったのよ!
ワニが群がってきて浄化どころじゃなかったんだからっ
…しちゃったらどうするのよ…




まさか…


浄化どころか
もう一生飲めない
毒湖に
なっちまった…
失礼ねっ
そんなワケ
ないでしょっ!!
アークプリーストは
トイレに行かないって
言ったじゃないっ!!


かんぱーい！
たいした被害もなくクエスト達成できたな
そうか？
しかしああいう充実したクエストならいくらでも…
お前も借金返せてよかったじゃないか
なあアクア


ずううぅん‥


外の世界にトラウマができて檻から出てこなくなったけど…
ブツ…
ブツ…
外の世界こわい…
ここは天国…


そーいやアレって浄水器として売れねーかな…
ボッ!
出るっ
出ますっ!!



タケノコ農家の朝は早い――
第七章
この幻のタケノコに不意打ちを！
ガサ
ガサ
ハア
ハア
何だって朝っぱらから山登りなんて…
良質なタケノコはこの時間じゃないと採れないの！
文句が多いわよ！ヒキニートっ


百万本に一本しか採れない七色に光る黄金タケノコをゲットしたいって言ったの誰よっ！
キラ
キラ
キラ
黄金なのに七色に光るとはこれいかに…

ここよ　この辺りに生えると言われてるわ
おぶろろうか
ねむいです
まあ　でも売れば一攫千金
食べればレベルが跳ね上がるという幻のタケノコを採るためだったら多少の苦労は…


よっしゃ！
ちゃっちゃと見つけてやるぜ！
運の良さ見せてやる
あ カズマ
待って


さーて…
この辺りかな…？


ひっっ？

わーっ何だこりゃーっ!!
気をつけてカズマっ
タケノコも食われてたまるかと思いきり飛び出してくるわっ！
キャーー!!
ズドドッ


自粛。
お尻とか狙われたら女の子は違う意味で大惨事になりかねないわよ！



タケノコごとき小痛な…我が爆裂魔法で一掃してや…
オオオ
やめろっ！タケノコ採れなくなるだろっ！



ドドドド
わくわく
そ…そうかここに立っていれば私は大惨事に…
お前は街に帰ってろ!!



ひえっ!?
ズドドドド
ひーーっ!!
な…何で私だけ集中的にーーっ!?



ガッ
あっ
アクアっ!
ドサァーッ
あ…
ありがと
カズマ
はっ

ふんっ!!








[redacted]




第八章
この傲慢な冒険者に制裁を!


駄女神ーーっ!!
そいつぁ俺んだ！返しやがれーっ


いーじゃない早い者勝ちよっ


未練がましく残しとくのが悪いんだからっ！
あっ!!


やれやれ
またか
いつもの事です
まあ…
喧嘩するほど
仲が…とは言うが…
ガチャッ
あっ
ドッ


ズズズズ
ふふんっ残念でしたっ
ーー
おのれ性懲りもなくそんな所へ…
だがしかしこうすれば
ガシャリ
LOCK
あれっ
ははははは
わーっ出してっ出してよカズマーーっ!!

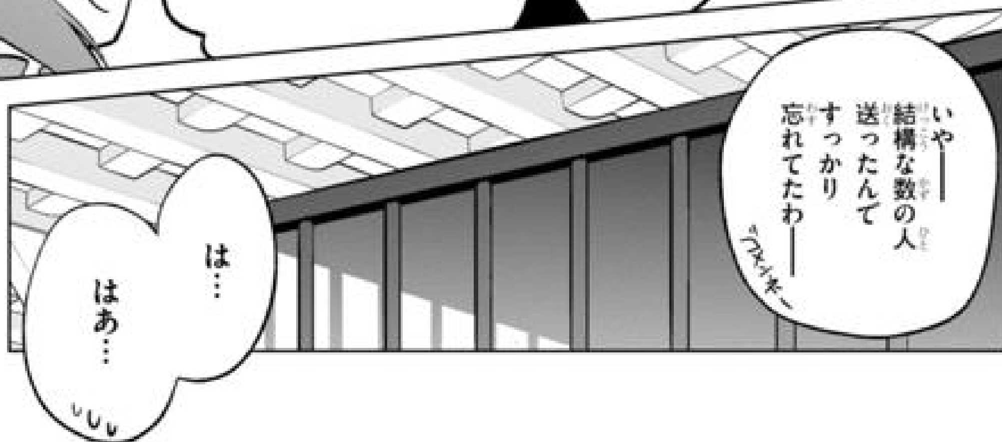


中に
モンスター入れて
この駄女神と
戦わせるのも悪くは…
いやーっ
おやめになって！
カズマ様――っ!!
ごめんなさい～
何故カズマは
時々
アクアの事を…
一つ――
気になるのだが…
めっ…
女神様っ!?


やっぱり…
女神様だっ
一体…
どうされたんですか？
こんな所で…！


ガァァァーン
あんた…誰だっけ？
おい知り合いか？誰だよ
んー…。


御剣ですよっ御剣響夜‼
あなたに魔剣グラムを頂いてこの世界に送ってもらった！
はい‼
がんばるのよ！
あー いたわね そんな人！


いやーー結構な数の人送ったんですっかり忘れてたわーー
は…
はあ…


ま…まあ
お元気でしたならよいのですが…
あ…アイツひょっとして俺より前にこの世界に…?
ところで…


ガッ




どうしてアクア様はこんな檻に閉じ込められていたんですか？


バカなっ有り得ないっ!!


おかしな要求で女神様をこの世界に引き込んで…
あまつさえ檻に閉じ込めてモンスターの囮にしたなんて！
いや待てよその檻にはアクアが自分から…
君はアクア様を何だと思ってるんだ！

いや…私としては楽しいからあまり気にしてないんだけど？
よくはありませんよ！
ブルルッ
聞けばあなたは馬小屋に寝泊まりしてると言うじゃないですかっしかも複数の人間とっ
あなたは女神ですよ？なのにっ



おい

いい加減手を放せ

お前はさっきから何なのだ

君達は…


クルセイダーに アークウィザード…
君は こんな綺麗で 優秀な人達が パーティーに いるのに
不遇な 扱いをして 恥ずかしく ないのか！


コイツらの事 知らないくせに 好き勝手 言いやがって…
ギリギリギリ
よしっ こうしよう！


アクア様と一緒に 君達二人も 僕のパーティーに 来るといい
は!?
僕なら君達に 苦労はさせないし 僕の仲間の戦士と 盗賊との相性 ピッタリだよ！


そうだな 俺も男のパーティーなんか入りたくないし！
お前達三人もあっちに行った方が今後はラクに…
あの人…ナルシスト系でこわいんですけど！
私もあの男は生理的に受けつけない！無性に殴りたい!!
あのスカしたエリート顔を爆裂させていいですか？
というわけで断固断る!!
っっ…！
君達…
い…いや僕は引き下がらないぞ


――て
こんな所に引っ張り出して何がしたいんだ？
悪いがこんな境遇のアクア様を放ってはおけない
僕と勝負してくれっ！


カズマー
そんなヤツ
やっつけちゃって！
私も今回は
攻めに回ろう
いつでも助太刀
するぞ！
キョウヤ
どうしたの？
昔お世話になった人の
パーティーリーダーと
決闘だって

君が勝てば
何でも一つ
言う事を聞こう
だが僕が勝ったら
アクア様をこっちの
パーティーに…
よし
乗った！
えっ
ちょっ!?
ガッ



うおおお——— 先手必勝———っ!!
まっ 待て 卑怯だぞっ！
勝負に卑怯もクソもあるかっ！
温室育ちが甘い事言ってんじゃねえ——っ
っ…！ やはり君にアクア様は任せておけない…!!



ズ…
ズズズ
悪いが…この魔剣グラムの餌食になってもらうよ
たとえ君が最弱職の「冒険者」でも手加減はしない
御剣 響夜 ソードマスター レベル37


く〜〜っ!!
くそっ…貰い物のくせしやがって…!
佐藤 和真 冒険者 レベル6
カズマ——っ!!
何だあの剣は…あれではカズマが…
いいぞキョウヤやっちゃえっ!


君にこの世界を救う力はない…あるのは女神に選ばれた僕だけだ
わかったら負けを認めてアクア様をこっちに…
…わかったよ
大人しく負けを認め…



あっ？

ひゃっ!?


かかったなアホが――っ
くっ
一度ならず二度までもっ…！
遅い！
スティイイイ――ルッツ!!


はっ？


ドサッ!..


ひっ
卑怯者っ
卑怯者っっ!!
あんた
最低っっ
男だったら
正々堂々と
勝負できないの?
ギョウヤ!!
甘いな
勝負の世界は
厳しいのだ
しまった
ヨロイを着てくる
べきではなかった
さて…ソイツ
何でも言う事を聞くと
言ってたから…
この魔剣でも
貰っていくか
なっ!


そんなのダメよっ
その魔剣は持ち主を選ぶのよっキョウヤ以外には使いこなせないわっ！
え？そうなの？
本当よ
魔剣グラムはあの痛い人専用よカズマが使っても普通の剣ね


まいいかせっかくだから貰っていこう
んじゃソイツ起きたら伝えといてくれ
まっ待って！
返しなさいっ！今度は私達と勝負よっ


別にいいけど…
真の男女平等主義者な俺は女の子相手でもドロップキックを食らわせられる公平な男
女相手なら公衆の面前で俺のスティールが炸裂するぞ？



ぞわっ
…くっ
おっ 覚えてなさいっ!!
うわぁ…
変なヤツ相手して疲れたなー
カズマー もう一皿 頼んでいい?
自分で払えよ
あっ 捜したぞ 佐藤和真っ!!
あれ


君の事は色々な人に聞いたよっ
ガタッ
公衆の面前で女の子のぱんつ脱がせたり粘液まみれにする鬼畜のカズマだってね!!
おい待ておい誰がそんな事言って
いやそんな事よりも!!
頼む!あの魔剣を返してくれ!
あれは君が持っていても仕方がないものだっ
無礼者!
今更何言ってるのよ!
私を賭けの対象にしてまでやった正当な勝負だったでしょう!
はっはい…アクア様…しかし…
ムシがいいのはわかってるが頼むっ!
他に代わりがきくなら何でも…!


くいくい
まず…
カズマがこの場で
魔剣を持ってない
件について
…？
な…何かな
お嬢ちゃん


さ…
佐藤和真
ま…
まさか…


売ったちくしょおおおぉーーっ!!


あっ駄女神っ
また俺の食い物をっ!!
もぐもぐ
ところで…気になってたのだが…
一体何だったのだあの男は…


カズマもあの男も何故アクアを女神と呼ぶのだ？
…そうね
今まで黙っていたけれど…あなた達には言っておくわ


私はアクア
アクシズ教団が崇拝する水を司る女神
私こそがあの女神アクアなのよ


っていう夢を見たのか
違うわよ!!
デスヨネー


第九章
緊急！
緊急！
冒険者の皆さんは直ちに武装し
街の正門に集まって下さい
くり返します…


第九章
このおぞましいデュラハンに反撃を！


ザワ
ザワ
おいおい 一体何の騒ぎだ？
あっ カズマ あいつよ あいつっ‼

オ
オ
オ
オ
っ…！ 貴様らっ
ぬけぬけと そんな所にっ！
びくっ



貴様ら！何故我が城に来ない！
この数日色々なもてなしの準備をして待ってたんだぞ！
あー
え？
城でまってるぞハハハハ
あ
アレか…
いやーまーなんつーか…
もう城に行く必要がなくなったというか…
あと…もう城に爆裂魔法なんて撃ち込んでないし別に…
何をぬかすか！
そこの頭のおかしい紅魔の娘っ
性懲りもなく毎日我が城に撃ち込みに来とるわ!!


お前…もう行くなって言ったよな…
許してあげてカズマッあいつへの腹いせなのよっ！
いたっ痛いです
だってあの城のように大きくて硬いモノにぶち込まないと我慢できない体にっっ!!
あのデュラハンのせいでロクなクエスト請けられなかったんだから！
それに私だって毎日動けなくなっためぐみんをおぶって帰…


お前も共犯か


…貴様ら…仲間を助ける気はないのか？
貴様らのふざけた茶番のせいで仲間を庇って呪いを受けたあのクルセイダーが…
すまないっ鎧を着るのに手間どってしまった


これは一体何の騒ぎだ？
誰かが理不尽な攻撃を受けてるなら私が一手に引き受けるぞ
何で――!?
どうして――!?
あれ――――!?
あいつは…
な…何故あんなにピンピンしてるのだ…？
た…確かに一週間後に絶対死ぬ呪いをかけたのに…
何なのだ？
いやまあ…


ちょっと！
私があっさり呪いを解いたってのに
知らずにワクワクしながら待ってたのー？
全く！
魔王の幹部ならぬとんだピエロねー
オイやめとけ
クスクス！
ちょーうけるんですけど！
ボゴッ
…貴様
いい度胸だ
俺が本気を出せば
こんなひよっ子しかいない街のヤツらなど一瞬で皆殺しにできるのだぞ


……！？
寝ほけた事言ってんじゃないわよ！
性懲りもなく私の前に二度現れた事を後悔しなさい！
ターンアンデッド!!
ハハハ馬鹿め!!
そんなモノがこの俺様に通用するとでも…

ギャアアア——!?




バタ
バタ
そ…
そんな…


カッ
カズマ！
変よっ
私の魔法が
効いてないわ！
いや
結構効いて
ないか？
アレ
ギャーッ…


ぐ…
ぬ…う
な…何だ
アイツは…
プスプス…


お…俺の身体は魔王様の強大な加護を受け
そこらのプリーストの神聖魔法など効かないハズなのに…
元々俺はこの街付近に落ちたという謎の光を調査しに来ただけだが…
こんなひよっ子の街に貴様のようなヤツが居たのは誤算だったわ！
い…いいだろうっ！
ズオオオ
魔王軍への脅威になりうる芽は俺自ら摘み取って…
今度こそ引導を渡してやるわよっ


セイクリッド・ターンアンデッド!!


ひあああああああ――!!


ぬおおおお――っ!!
あっちゃ――!!
キャーッ
ワーッ
ボオオ
ゴロゴロゴロゴロ
消滅しないの
どうしようカズマっ
やっぱり
効いてないわ!
いや…
やっぱり
ものすご～く
効いてる気が…

フ…
ブス
ブス
フン…

考えてみれば
わざわざ俺が
相手してやるまでも
なかったな
だが俺を
コケにした事を
後悔させてやる
ひっ

お前達

あ゛…

存分に
街の連中に
地獄を見せてやれ




魔王軍幹部が一人
デュラハンのベルディアだ！
街の連中を皆殺しにせよ!!



第十章
街の連中を皆殺しにせよ！



ワーーッ
キャーーッ


第十章
この絶望的な状況から脱出を!



オオオ
ワーワー
だっ 誰か プリースト 呼んで来てー
聖水を ありったけ 持ってこい――!!
くそっ やるしか…っ!!
ははは
さあ お前達の 絶望の叫びを この俺に…


あれ？
ドドド
えっ？ えっ？
ちょっと！
何で私ばかり集中的に──っ!?
こっ こら お前達っ
プリースト一人にかまけてないで他の冒険者も血祭りに…！
さすが女神…


ああっずるいっ
あのアンデッドナイト何故私に襲いかからずアクアばかりに！
おいめぐみんっ
あのアンデッドの群れに爆裂魔法を撃ち込めないか？
アクアもろとも
無理ですっ
街の中ですし何匹かは撃ち漏らしてしまいます！


カズマ――っ
ドドドド
おわっ!?こっち来んなっ――!?
はっ
そうだっ


めぐみんっ
街の外で待機してろっ
えっ


アクアー―
こっちだ――っ!!
他のヤツらと戦ってるアンデッドも全部引き連れてこい――!!
好きで引き連れてるワケじゃないんですけど――っ!!
いいから走れ!
街の外までかけぬけろ――!!
ひ~~っ!



よしっ
今だ めぐみんっ ぶちかませーーっ!!
このナイスなシチュエーション…感謝します!
我が名はめぐみん
紅魔族随一の魔法の使い手として爆裂魔法を操りし者!
ベルディアよ 我が力見るがいい!


エクスプロージョン！
オオオオ


…うえ～ ぺっぺっ…
口の中がじゃりじゃりする～…
よしっ めぐみん よくやった！
うおおーっ やるじゃねーかっ 頭のおかしい子！
名前と頭がおかしくてもやる時はやるんだなっ 見直したぜーっ！
ご苦労さん 後はゆっくり休んどけ
あの人達にも爆裂魔法ぶっ放したいのですが…
はい その前に…
クッ… クハハハハ!!



面白い…面白いぞ

こんな駆け出しばかりの街のヤツが我が配下を全滅させるとはな!

その力に敬意を表して…




くっ
魔王の幹部だか
知らねーが
相手は一人だっ
死角を
狙う！
囲んで同時に
襲いかかるぞっ
うおおお――っ!!


馬鹿めが！




ドサ
ドサ




フッ…
次は誰だ？


俺に死角などない
もっとも
こんな雑魚ども何人かかって来ても無意味だがな
くそっ…
おかしな首の使い方しやがって…！
い…いい気になれるのも今だけよっ！
あ…あんたなんか…


ジャキッ
街の英雄
ミツルギさんが来たら
魔剣の一撃で
消滅しちゃうんだからっ!!
そっ そうだっ
居るんだぜ!
この街にも高レベルがっ
あの魔剣の兄ちゃんさえ
来ればお前なんて…!
えっ？
あー
いや…
それはあまり
期待しない
ほうが…
そうだっ


って…
何だよ!
おい
駄女神っ!
お前も戦…
許さん…っ!
ペタ
ペタ
唯一対抗
できそうな
アクアまで…
何やってんだ!!


貴様に斬り捨てられた仲間達の無念…
貴様に一太刀浴びせて晴らしてやる!
格好いい事言ってるけど…
今の割と不意打ちっぽかったよな…
なのに…動いてもない相手に当てられないなんて…
かあぁーっ
さ…さあっかかってこい!
愚かな…


ダクネスッ！
たあいもない
さて次の相手は…


ま…
待て
お前が斬ったのは
私の鎧だけだ
新調したばかりなんだ
弁償してもらうぞ
……
何だと…
身体に届いたと
思ったが…
あの鎧…相当な
業物なのか…
いや…しかし
ならばっ


今度は本気で試してみようか!



ピッ
……
血…？
ダクネスッ
お前…
手傷を負わされて
いるのかっ!?
もういいっ
一度下がれっ
ひとまず逃げて…
作戦の立て直しだっ
だ…
大丈夫だカズマ
私の防御スキルは
身につけている
防具にも効果がある
私だったら
ヤツの攻撃に
耐えられる…っ！



何より

ハア…

ハア…

こっ このデュラハンはなかなかのやり手だぞ…！

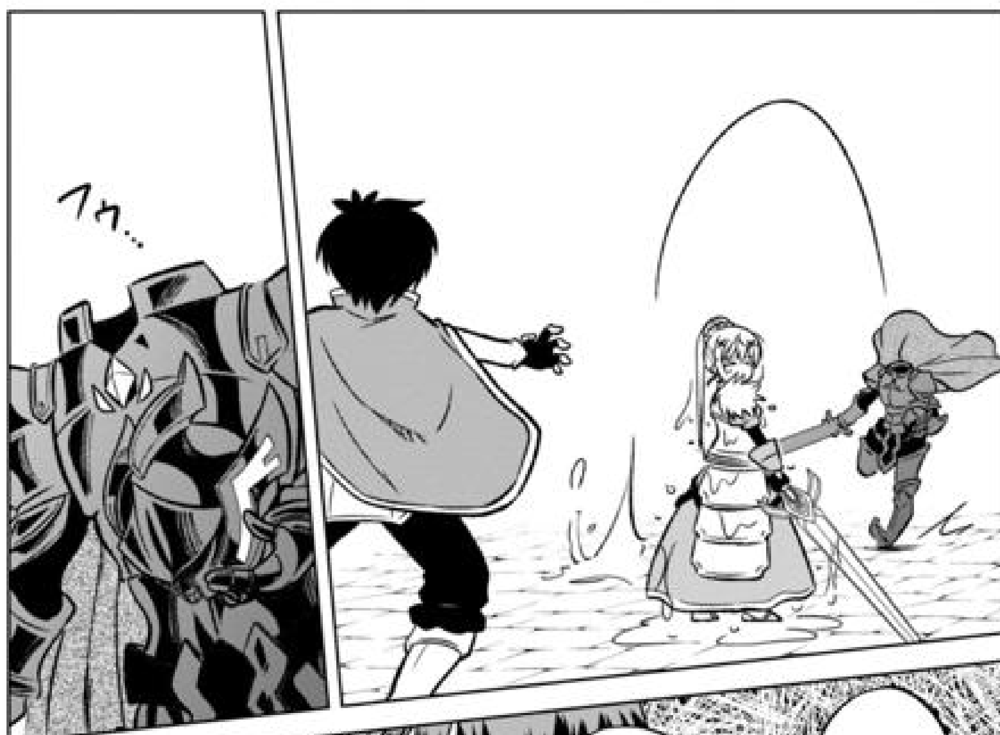
さっきから私の鎧を少しずつ削りとって…悦んでいるんだ

私を公衆の面前で裸よりも扇情的な姿にして辱めるつもりで…！

ガーン

えっ…


フル フル
時と場合くらい考えろっ
このド変態が――っ!!
クリエイトウォーター!!
なっ…カ…カズマまでそんな罵ったら…私は…っ!
わぷっ
うるせーっそれで頭でも冷やしてろっ!!
バシャッ


フゥ…


……？
何だ…？今の…


邪魔をするか貴様…っ！
そうだっ！


あいつの剣さえ
奪えば…
勝機が生まれるっ…！
くらえっ
俺渾身の…っ!!
スティール!!



残念だったな

カズマッ


第十一章
悪くはない手だったが…


俺は仮にも魔王の幹部


レベルの差というヤツだ
カズマっっ


第十一章
このろくでもない戦いに決着を!


もう少し…お前との力の差がなければ危なかったかもしれないが
さらばだ
くそっ 死ぬのか?
俺 また死ぬのか…っ
ドッ
私の仲間に手を出すなっ


逃げろカズマっっっ!!
ギッ
つっ……!
ダクネスっ


くそっどうすればっ……!
!
そうだっ
盗賊のヤツらっ協力してくれっ
万が一にでもスティールであいつの剣を奪うことができればっ…っ!


ど…どうせ
逃げても
皆殺しだっ
くそったれ
やってやる!!
スティーールッ
くそっ
だめかっ
…!


いでっ!!
…くっ！


なかなか楽しめたよ
元騎士として…貴公と手合わせできたことに感謝し


貴公の首を魔王様に捧げることにしよう！


ああっ

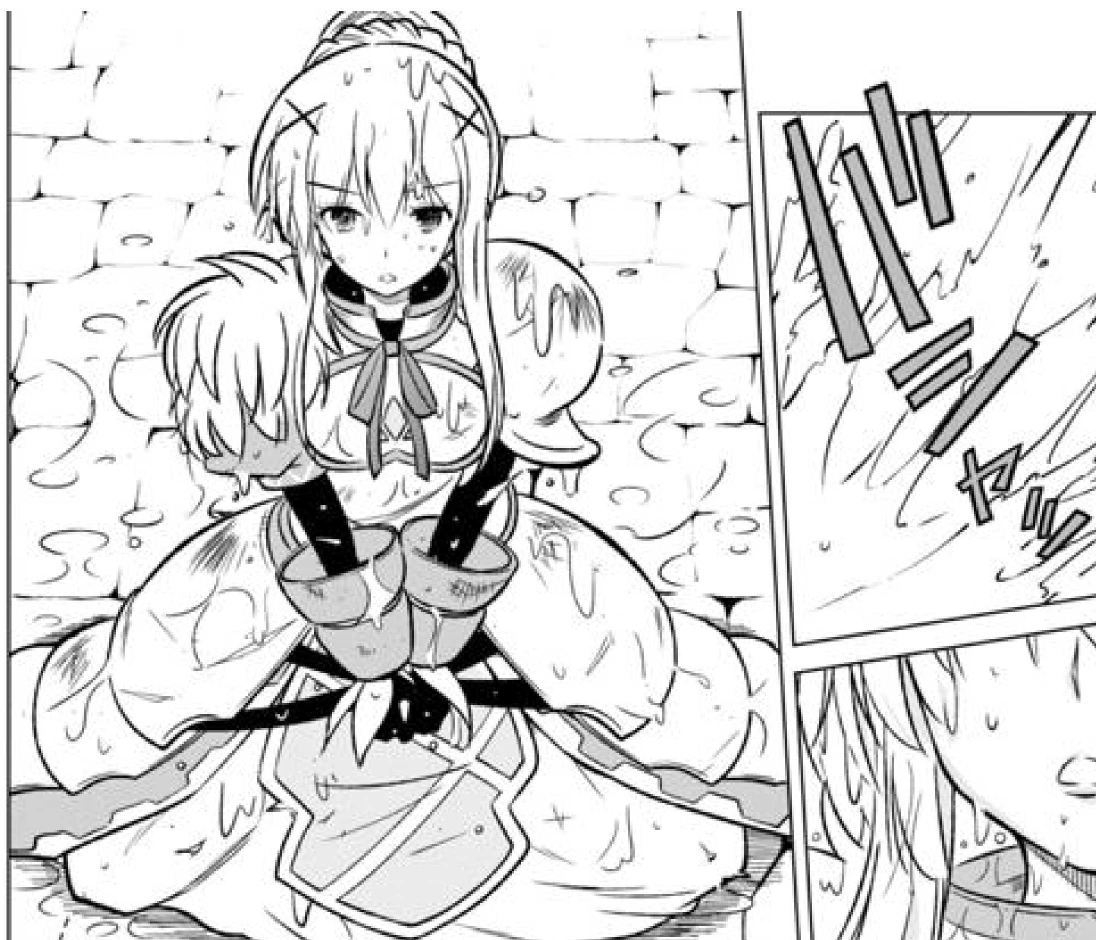




カズマっ ダクネスがっ
くっ…くそっ
ヤバイ…ヤバイヤバイ！
こんな時…どうするっどうしたらいいっ
何か…アイツに弱点は…!?
デュラハン…アンデッド…ゲーム…そうだ…ゲームじゃ何が弱点だった？


まてよ…
何でアイツは
俺の出した水を
大袈裟に避けた？
水…
あのメジャーアンデッドの
ヴァンパイアも
苦手とするもの…
なら…
あのデュラハンには…


クリエイト
ウォーター！


ドシャッ


……
あーカズマ…




一応 私も真面目に戦ってるのだから悪ふざけは…




クリエイトウォーター！
クリエイトウォーター！


水だあああ―――!!
涸れるまでぶっかけろ―――っっ!!


クリエイトウォーター！
クリエイトウォーター！
クリエイトウォーター！


くぬっ！
ぬぬっ!!


くっ
くそっ
弱点っぽいのがわかったのに…当たらねえ…!
ちょっとカズマ!
私が働いてる間に何で皆 魔王の幹部と水遊びなんてやってんのよ!
あっお前っ!今まで何処にっっ!!

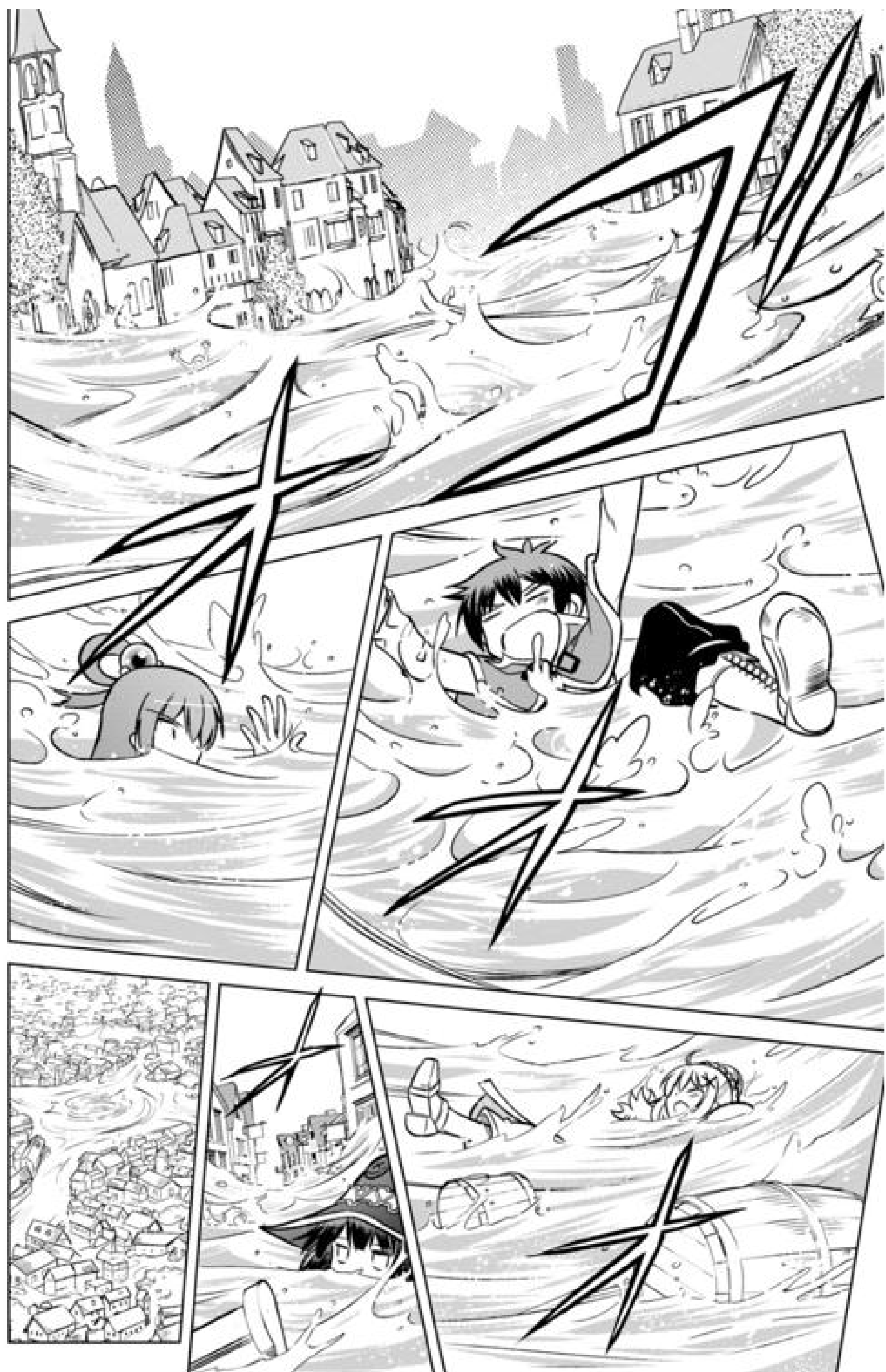

水だよ水っ あいつは水が弱点なんだよっ！
でも当たんねーの！
ワー
ワー
あら そうなの？ しょーがないわねー
仮にもお前も水の女神なんだろがっ 何とかしろっ！
ちょっと！ 仮じゃなくて正真正銘の水の女神様よ私っ
だったら水の一つでも出せ駄女神——!!
あーっ また駄女神って言った——っ!!
いいわ 見てなさいっ
あんたの出す貧弱なのじゃなくて洪水クラスの水を出してあげるわっ！
ファサッ



え？
今なんて
この世に在る
我が眷族よ…
水の女神
アクアが命ず




セイクリッド
クリエイトウォーター!!




ザァァァ
ズシャッ
ぐ…
ぬっ…ぬぐ…ぐ…
き…貴様…何を考えてるのだ…
街をこんなにしおって…大馬鹿なのか…？
見てっカズマ あいつ私の凄い魔法で弱ってるっ！
今がチャンスよっ 早く行って！ ホラっ早く早くっ！
こ…このアマ…


でも…
今しかねえ…っ
今度こそ
お前の武器を
奪ってやる!!
やってみろ!
弱体化したとは言え
貴様ごときの
スティールで…っ


スティールッッ
どうだっ!?


!
だ…だめか…
あ…あのー


首…返して もらえませんかね…？




あだっ
いだだっ
こらっ
お前ら
やめっ…
ワー
ワーッ

ズシャッ
終わりだ

これは…
お前に殺された
者達の分…
受けるがいいっ!


ガッ
ぐはっ!?

よしっ今だアクアっ
成仏させちまえ!
任されたわっ
覚悟しなさいベルディアよ!



そっ そんなっ…

この俺が…っ!!






ダクネス 何をしているのですか？
…祈りを捧げていた
祈り？
敵とはいえ 生前は名のある騎士だったろうから 不憫に思ってな…


そして…
あのデュラハンに斬られた者達…


私の鎧の中はガチムチの筋肉なんだぜと大嘘を流してくれたセドル…
団扇代わりにその大剣で扇いでくれと私をからかったヘインズ…
私の戦い方に文句を言っていたガリル… 皆ろくでもない連中だったがもう一度会えるものなら…
お…おう




えっ…えっ⁉
何故⁉
い…いや
悪かったな…
お前さん…俺達に
そんな風に…
任せて頂戴っ
ダクネスっ！
悪気なし。
私にかかれば
あんな死にたて
ホヤホヤの死体
ちょちょいの
ちょいで蘇生よっ！


ホント悪かったな
変な噂
立てちまって…
い…いや
こ…今度
何か奢るからよ
あの
良かったな
また会えて


ち…
違う…
こんなの…
私が望む
羞恥責めとは
違うから…っ！


翌日
ワイワイ
ワイワイ
あっ 遅かったじゃない カズマっ
もう皆出来上がってるわよ！
おいおい 何だよ この騒ぎ
魔王の幹部討伐で皆に特別報奨金が出たのよっ！
ホラホラっ カズマも受け取って来なさいよっ
よっ MVP!


来たか カズマ
さあ お前も 受けとれ
ホク ホク
あの サトウカズマ ですけど
ああ… お待ちして おりました


あの…ですね カズマさんの パーティーには 魔王軍幹部 ベルディア討伐に 大きく貢献した事で
特別報酬 三億エリスが 出ております


うおっ 三億!?
すげえっ これでもう 働かなくても ラクに生活でき…
おおっ
ですが――


その…討伐の折
アクアさんが
召喚した大量の水で
街に多大な
洪水被害が
出まして…
何とか…弁償金額
三億四千万エリス
支払って頂けないかと…




俺は
逃げ出そうとする
アクアの襟首を
素早く摑み
深く
魔王討伐を
決意した
このろくでもない
世界から
脱出するために！

佐藤和真さん
ようこそ死後の世界へ

第十二章

へ…
誰だ？ この子

残念ですが…
この世界でのあなたの人生は終わったのです…
終わった？ もしかしてまた俺…

でも… 何で一番最初によぎったのが
あのろくでもない世界に
戻りたいって気持ちなんだろう


第十二章
この転生に幸運を！



さ…寒い…

金が欲しい…

ガタ ガタ ガタ

寒い…

金が欲しいっっっ!!

くそっ…もうじき冬本番だってのに

このまま馬小屋生活続けてたら死んじまう…

なーにしけた顔してるのヒキニート!

落ち込んでても心に春はやって来ないわよっ
ホラ なけなしのお金で買ったホットネロイドあげるから…
誰のせいだと思ってんだこの駄駄駄駄女神——っ!!
いやあああ熱いいいいっっ
熱くてシュワシュワする——っ!!




報酬は悪くないが
難易度の高いクエストしか
募集していない
仮に達成しても
報酬の大半が
天引きされてしまうし…
何なのよ
この不当な待遇は
──っ
私達はこの街の
英雄なのよ──
──っ!!

しかし
この状況…
仕事をしない
わけにもいくまい
仕方ねぇ…
なるべく安全な
クエスト探すか…
うう…
もっと私を
称えてよ敬ってよ…
……

白狼の群れの
討伐…
ムリ
一撃熊の
討伐…
絶対ムリ!
機動要塞
デストロイヤーの
偵察…?
何だコレ
ワシャワシャと動いて
全てを蹂躙する
子供達に妙に人気の
あるヤツです


なあ…
この雪精討伐
ってのは何だ？
ああ
雪精ってのは…
白くてフワフワした
人に害のない
雪のモンスターよ
ちなみに一匹
倒す毎に春が半日
早く来るって言われてるわね


ふーん
報酬も良いし
危険なヤツじゃ
ないならコイツに
するか
ピッ
なら私も
準備
してくるわ
あ…


雪精退治は…
雪精か…


ヒュ
オオオオオオオ


ふよ
ふよ


さ…寒い…
ガチ
ガチ
コート持ってくりゃよかった
ホラ！カズマもさっさと捕まえて！


お前達…寒くはないのか？
そんなカッコで
あと何でつかまえてんの
私も別に問題はない
そんなの気合いよ気合いっ
いい冷蔵庫代わりになるのっ

少々冷えるが我慢大会みたいでそれもまた…
ハァ
ハァ
頭の温かい変態は体温も高いのかもしれない…

よっ
はっ



カズマっ一匹ずつなんて面倒ですっ
我が爆裂魔法で一掃してくれますっ
えっちょっと待…


エクスプロージョン!!
ドオオォォ
サァァァァ
カズマやりましたよっ
一網打尽ですっ!
レベルも二つ上がりました
雪に埋もれてなかったらもう少し格好いいんだけどな…
でも…これで全部仕留めたか?
うぇ~…


俺達が倒したヤツとアクアが捕まえた分でしめて百六十万エリス
あ
美味しいな！冬の間はここに籠もろうかな？
やはり来たかっ


ん？
何
ヒュオオオォォォォ
カズマ…何故他の人がこのクエストを受けないのか教えてあげる…


日本に住んでいたあなたならニュースで聞いた事があるでしょう？
この時季になると訪れる冬の風物詩…
殺された同胞の仇を討たんとする
雪精の主


そう
冬将軍の到来よ
ええい！　この
ロクでもない世界のヤツは
揃いも揃って大馬鹿だ!!
ヴウウウ


オオオ
危ないっ

わわっ
私の剣が!?

おい
アクアっ
めぐみんっ
何とかしろ!

無理よっ
あの精霊決まった
実体持たないもの!



大体何で鎧武者が
冬将軍なんだよ!

アホか-

カズマより前に来た
日本の誰かが
「冬将軍=鎧武者」って
洒落で連想しちゃったのよ!

私に言わないで!


とにかくっ冬将軍は寛大な精霊よっ！
ホラッおにげ！
DOGEZAよ！DOGEZAして謝るの！早くっ!!
ははあ

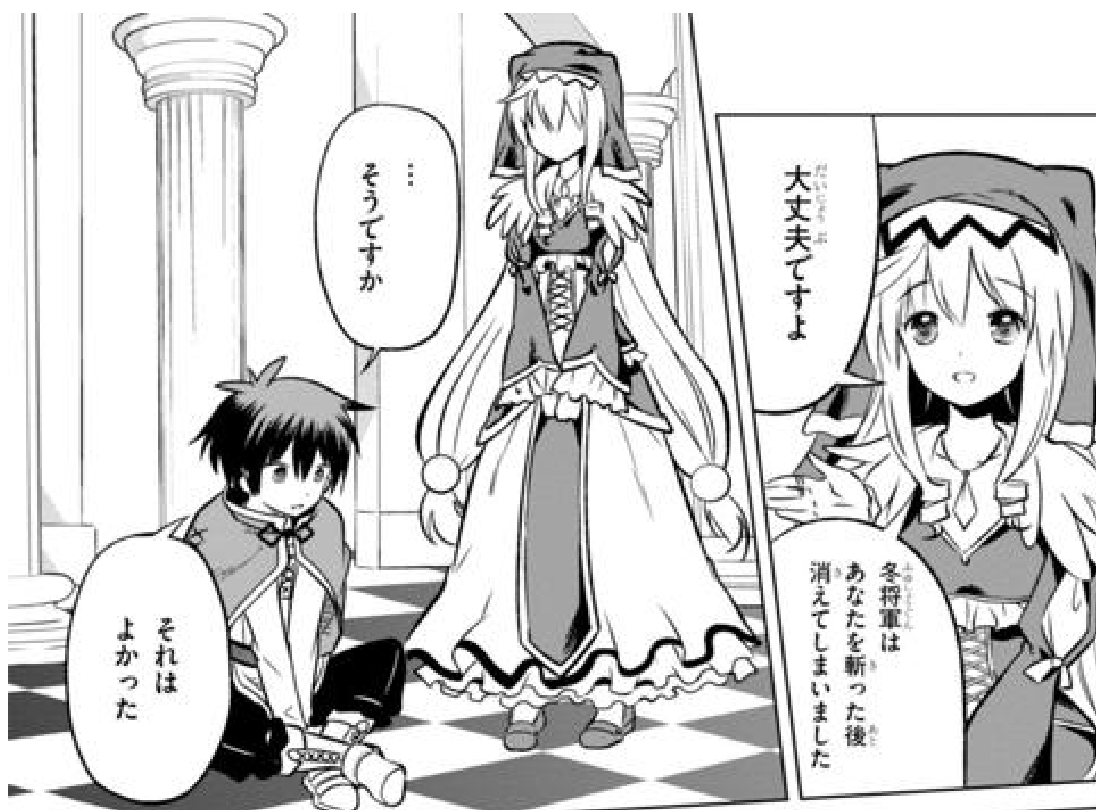

！
何やってんだっお前も土下座しろっ！
くっ…聖騎士である私がモンスターに頭を下げるなど…
いや…しかし下げたくもない頭を無理やり下げさせられるなんてどんなご褒美か…
ガクガク
ええい面倒くせえなもうっ!!


こんな時だけ変なプライド見せるんじゃない!!
カズマっ頭っ頭っ!!


は…



あの
落ちつかれました？
すんません
取り乱しちゃって…
いいんですよ
仕方のない事ですから
私は
エリス
あなたに新たな道を
案内する女神です
物腰穏やかな
女神様だな
美人だし
どっかの
駄女神とは
大違いだ
ところで
俺を殺した
モンスターは…
ああ…


大丈夫ですよ
冬将軍は
あなたを斬った後
消えてしまいました
…
そうですか
それは
よかった


あいつら…
俺の仇討ちとか言って
突っかかって
行きかねないからな


佐藤和真さん


せっかく日本から
この世界に来てくれたのに
こんな事に…
異世界から来た
勇敢な人…
せめて私の力で
何不自由なく暮らせる
ように転生させて
あげましょう


ああ…そうか
死んだら
天国行くか
赤ちゃんから
やり直すんだっけ


この訳のわからない
世界でもう一度人生
やり直せた事が
異常だったんだな…
短い間だったけど
最後に少し楽しめたと
思おう…



あの　はた迷惑な
連中に会えなく
なるのは少し
寂しいけど……

ポゥ…

ちょっと
カズマ──っ!!
カズマー
カズマー
カズマー
ん。


なっ
なんだっ⁉
こ…この声は…
何こんな所で
あっさり
殺されてんの！
死ぬにはまだ
早いわよっ
さっさと
帰って来なさい！


よ…よく似た
プリーストが
いるとは
思っていたけど…
まさか本物の
アクア先輩⁉
あれ？
その声は後輩の
エリス？
丁度よかったわ
今カズマに蘇生魔法
かけたからこっちへの
門を出してあげて
ええっ？
そんなの無理
ですよっ


カズマさんは前に
一度生き返ってますから
天界規定で
これ以上蘇生が
できないの知って…
何言ってんの！
この世界で国教や
通貨単位になって
崇拝されてるからって
調子こいてんじゃないわよ！
いや…でも…
これ以上ゴタゴタ
言うならその
上げ底になった胸パッドを
取り上げ…
わわわわわわっ
わかりました！


もう…
こんな事
特例ですよっ
王様だって
一度だけ
なんですから



さあ…これで戻れます
俺あの世界に帰れるの？やったぜ！
ポリポリ
何で喜んでんだ俺
カズマさん
この事は内緒ですよ？


…ズマ
カズマっ
……あれ…？俺
ああ よかった！心配したぞ


やっと目が覚めた？
あの子は頭が固いんだから


あ…
何驚いた顔してるのよ
私達に言う事あるでしょう？


ん？




チェンジで
上等よクソニート!!
あの子に会いたいなら
今すぐ送り返してやるわ!!


KONO
SUBARASHII
SEKAI NI
SYUKUFUKU
WO!
2

コミックス2巻
発売
おめでとう
ございます!!

にっ

暁なつめ

コミックス二巻発売、
おめでとうございます！
渡真仁先生、アニメ化ですよ
アニメ化！ アニメもですが、
今後もコミックス版を
楽しみにしております。
そして渡真仁先生の更なる
ご活躍をお祈りしつつ
……祝福を！

もう2巻とは早いですね…！
いつも可愛く描いてくださ
ってありがとうございます
！
画面を動き回るカズマ達を
今後も楽しみにしておりま
す…！

無事2巻発売となりました(祝)
この間にアニメ化も決定し
ますます盛り上がりを見せる
この素晴らしい世界に祝福を!
の漫画を手がけられて幸せです。

願わくば住んでいる地域でもアニメが
放映される事を祈って(笑)



KONO SUBARASHII SEKAI NI SYUKUFUKU WO!

この素晴らしい世界に祝福を！

暁なつめ

ドラゴンエイジ電子版　特別短編

異世界式ダイエット

「ちょっと！　アクアさんはどこ!?」

とある日の昼下がり。

朝に簡単なクエストを終え、ダクネスやめぐみんと共に冒険者ギルドでだべっていると、一人の女冒険者に絡まれた。

「アクアなら邪悪な気配がするとか言って、どっか出掛けて行ったんだけど。……あいつ、また何かやらかしたのか？」

俺の言葉にその人は、ちょっとだけ言い難そうに顔を歪ませ。

「……その。高いお金を払って掛けてもらった魔法を、通りすがりのアクアさんに解除されちゃって……」

と、ごにょごにょと小声で言ってきた。

「魔法の解除って、あのバカは何をやってんだよ。解除されたのは支援魔法か？　それなら、あいつ捜してきて同じ支援魔法を掛けさせるけど」

冒険者ギルドには、俗に支援屋と呼ばれる連中がいる。

大概は、引退して冒険に出なくなったプリーストが老後のちょっとした小遣い稼ぎに行なう商売だ。

プリーストは成り手が少なく、どのパーティーにでも所属しているわけではない。

そこで、プリーストがいないパーティーなどは、冒険に行く前に支援魔法を掛けてもらってからクエストに挑むのだ。

「あー……。支援魔法ってわけじゃないんだけどね……？　その、アクアさんにちゃんと注意しとかないと、また解除されちゃったら困るから……」

女冒険者はいまいちハッキリしない事を言いながら視線を泳がす。

と、その時だった。

「ちょっとカズマさん！　アクアさんは!?　あの人はどこにいるのよ！」

ギルドに突然駆け込んできた女冒険者が、俺を見るなり食って掛かる。

あのアホ、またやらかしたのか。

「ちょ、落ち着いてくれ！　アクアならどっか出掛けてから帰ってないよ、ひょっとしてアレか？　あんたもアクアに支援魔法を

解除されたのか？」
「う……。いやその、し、支援魔法じゃないんだけど、まあ、そんなところね……」
あいつはほんとに何やってんだよ。
と、俺の隣で焼き鳥を頬張っていためぐみんが。
「掛けられていたのが支援魔法ではないとなると、一体何の魔法ですか？　アクアがいたずらに魔法を解除するとも思えないのですが」
「うむ、目を離せばロクな事をしないが、アレでも一応聖職者だ。人に害を与える魔法でない限り、さすがに勝手に解除する事はないと……」
と、めぐみんに続きダクネスの言葉も受け、アクアを捜していたその二人は気まずそうに顔を見合わす。
と、丁度その時、話題の張本人がやって来た。
「ほら、キリキリ歩きなさいな！　まったく、この私の目はごまかせないわよ！　さあ、一体何のつもりであんな事をしていたのか聞きましょうか！」
「か、勘弁してください！　僕はただ、良かれと思って……！」
黒いローブを被った、怪しげな男を引き連れながら。
アクアは俺達を見つけると、男をグイグイと引っ張りながら。
「ねえ皆、お手柄よ！　この怪しい男が街の人達に呪いを掛けてたのを捕まえたの！　警察に突き出したら金一封くらい出るかしら！」
「警察は許してください！　っていうか被害届けも出てないはずですし、本当に悪い事はしていないんです！」
悲痛な声を上げる男を見て、アクアを捜していた女冒険者二人が目を逸らす。
そんな二人を訝しみながらも、俺は男に事情を尋ねた。
「なあ、呪いってどういう事だ？　そこのポンコツはこれでも一応アークプリーストでな。呪いやなんかには敏感だと思うんだよ」
「ポンコツ!?」
「ち、違うんです！　僕は確かに対価を貰って呪いを掛けてはいましたが……！」
男の言葉を聞いたダクネスが、ゆっくりと立ち上がる。
「……貴様、呪いを掛けた事は認めるのだな？　呪術師は、人への呪い魔法の行使を禁止されているはずだ」
「支援屋の亜種で、恨み屋と呼ばれる人達がいるそうですよ。対価を貰って依頼人の代わりに恨みを晴らす、非合法な商売らしいです」
「待ってください！　違います、僕は確かに呪術師ですが、恨み屋ではありません！」
男が悲鳴を上げる中、例の二人の女冒険者達がソワソワしだした。
……なんだろう、この二人の反応は。
ひょっとしてこの二人が掛けられた魔法ってのは……。
「じゃあなんで街の人達に、それも女の子ばかりを狙って呪いを掛けて回ってたのよ」
アクアの言葉に男はうつむき。
「……掛けていたのは、食欲を無くす呪いなんです……」
観念する様にポツリと言った。
ざわめいていたギルド内がシンと静まり返る中、ドヤ顔のアクアが男の手を取り。
「とうとう白状したわね！　まったく、街中の女の子の呪いを解くのって凄く大変だったんだからね？　さあ、大人しく警察に……」
「「「待ってください！」」」
と、ギルド内のあちこちから響く制止の声。
声の主を捜してみれば、そこには気まずそうに目を逸らせる女冒険者やギルドの受付嬢達がいて……。
ああそうか。これってつまり。
「痩せたい人はいませんか？　一週間持続する呪いが、お値段たったの三万エリスで……」
女冒険者や受付嬢がおずおずと手を挙げる中。
先ほどまでいきり立っていたダクネスが、恥ずかしそうにそっとその手を……。

ドラゴンコミックスエイジ

この素晴らしい世界に祝福を！(2)【電子特別版】

原作：暁なつめ
作画：渡真仁
キャラクター原案：三嶋くろね

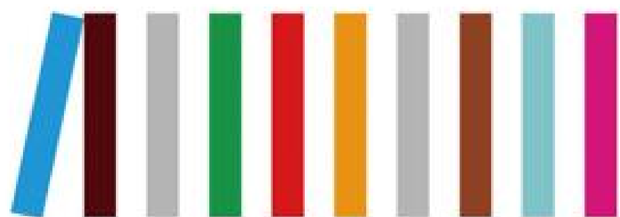
2015年12月9日　発行

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
ドラゴンコミックスエイジ『この素晴らしい世界に祝福を！(2)』
2015年12月9日初版発行

発行者　青柳昌行
発　行　株式会社KADOKAWA
http://www.kadokawa.co.jp/

〒102-8177　東京都千代田区富士見2-13-3
03-3238-8521（カスタマーサポート）
編集企画　コミック＆キャラクター局
　　　　　ドラゴンエイジ編集部

カバー・本文デザイン：ムシカゴグラフィクス


BOOK☆WALKER